



会津果樹情報第2号

☆摘果・病害虫防除は計画的に実施してください！☆



令和8年5月26日

福島県会津農林事務所 農業振興普及部
(TEL 0242-29-5307)

J A会津よつば あいづ西部営農経済センター

1 4月以降の気象概況

表1 月別気象表（会津若松市）

月	半旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比 (%)	本年	平年	平年比 (%)
4	1	11.2	7.2	4.0	15.7	13.3	2.4	7.7	1.9	5.8	37.5	11.0	340.9	19.8	26.9	73.6
	2	11.4	8.4	3.0	17.6	14.7	2.9	5.7	2.8	2.9	4.5	10.5	42.9	23.4	27.5	85.1
	3	13.7	9.5	4.2	22.1	16.1	6.0	6.5	3.7	2.8	4.0	10.5	38.1	44.7	28	159.6
	4	16	10.7	5.3	23.0	17.3	5.7	8.6	4.8	3.8	1.0	11.0	9.1	44.7	28.2	158.5
	5	13.1	11.8	1.3	21.0	18.4	2.6	4.6	5.9	-1.3	2.0	11.0	18.2	39	29.2	133.6
	6	13.8	13	0.8	19.7	19.7	0.0	7.7	6.7	1	12.5	10.5	119.0	25.8	31.5	81.9
平均・合計		13.2	10.1	3.1	19.9	16.6	3.3	6.8	4.3	2.5	61.5	64.5	95.3	197.4	171.3	115.2
5	1	14.6	14.1	0.5	21.0	21.0	0.0	8.7	7.7	1	25.0	10.6	235.8	27.4	32.6	84.0
	2	15.7	14.9	0.8	23.0	21.7	1.3	8.4	8.7	-0.3	6.0	11.8	50.8	42.3	31.9	132.6
	3	17.9	15.5	2.4	26.6	22.0	4.6	10.4	9.7	0.7	0.5	13.6	3.7	52.2	31.2	167.3
	4	21.5	16.4	5.1	31.3	22.8	8.5	12.7	10.7	2.0	0.0	14.3	0.0	61.8	32.3	191.3
平均・合計		17.4	15.2	2.2	25.5	21.9	3.6	10.1	9.2	0.9	31.5	50.3	62.6	183.7	128.0	143.5

会津若松市における4月の平均気温は13.2°C（平年比+3.1°C）で、降水量は61.5mm（平年比95%）、日照時間は197.4時間（平年比115%）となりました。5月の1半旬～4半旬の平均気温は17.4°C（平年比+2.2°C）で、降水量は31.5mm（平年比63%）で、日照時間は183.7時間（平年比144%）となりました。

また、東北地方の1か月予報（5/10～6/9）によれば、暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高く、期間の前半はかなり高くなる見込みです。

2 発育状況（5/25 現在、会津若松市）

りんご「ふじ」の満開は4月24日で平年より11日早く、もも「あかつき」の満開は4月13日で平年より12日早く、おうとう「佐藤錦」の満開は4月17日で平年より10日早くなりました。また、かき「会津身不知」の開花は5月24日で平年より11日早くなりました。

表2 各樹種の発育状況（平年は1986～2024年の平均値）

樹種		りんご	もも	おうとう	かき
品種		ふじ	あかつき	佐藤錦	会津身不知
調査地点		北会津町	神指町	北会津町	門田町
発芽日	本年	3/28	3/24	4/2	4/2
	昨年	3/31	3/28	4/9	4/12
	平年	4/2	3/27	4/1	4/9
開花日	本年	4/19	4/9	4/17	5/24
	昨年	4/27	4/18	4/18	6/6
	平年	4/30	4/19	4/22	6/4
満開日	本年	4/24(-11)	4/13(-12)	4/17(-10)	未
	昨年	4/30	4/22	4/23	6/9
	平年	5/5	4/25	4/27	6/8

3 今後の栽培管理

(1) おうとう

ア 摘果

生理落果が起こりやすい「佐藤錦」では、生理落果が終了し果実の肥大差がはっきりしてくる5月下旬頃から、摘果に入るようにしましょう。

(2) もも

ア 摘果

摘らいや摘花を実施しなかった場合や摘らい程度が弱く着果数が多い園地は、予備摘果を実施し、仕上げ摘果は果実肥大に差がつく満開後40日頃（6月1日頃）から、硬核期開始日頃（満開後50日（6月11日頃））までを目安に実施しましょう。

イ 新梢管理

5月下旬から6月中旬にかけては新梢の生育が最も盛んな時期で、樹勢の強い樹や若木等では新梢が混み合いやすくなります。樹冠内部や主枝、亜主枝の基部、側枝の基部などから発生する徒長しやすい新梢は、早めに摘心や夏季せん定を実施し適正な樹体管理を心がけましょう。なお、樹勢の弱い樹については葉面積の確保を優先し、夏季せん定は行わないか最小限としましょう。

(3) りんご

ア 予備摘果

1頂芽（1果そう）当たり1果にします。5月下旬までに実施してください。結実が良好な園地では、長果枝や葉の少ない果そう及び肥大不良の果そうの果実は摘除し、着果負荷の軽減を図りましょう。また、えき芽果の着生が多い園地では、早めに摘除しましょう。

なお、予備摘果の際に果柄を取り除くと腐らん病の予防に効果的です。

(4) かき

ア 摘らい・摘花

摘らい・摘花は、5月中旬から実施しましょう。

(5) ぶどう

ア 芽かき

棚より低い位置の新梢は全てかき取ります。また、短梢せん定では生育の良い新梢を1芽座あたり1～2つずつ残し、それ以外の新梢はかき取ります。

イ 新梢管理

テープナーを使い、主枝延長枝は誘引線に沿ってまっすぐに誘引し、それ以外の新梢は棚線に誘引できるくらいに伸びたら、随時、主枝から垂直に誘引します。

ウ 巻きひげの除去

巻きひげ（図1）は巻きつくと誘引作業の妨げになるだけでなく、晩腐病の発生源になります。巻きつく前に誘引を行いながら除去しましょう。

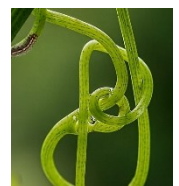


図1 巻きひげ

エ 花穂整形

ジベレリン処理時期を逃さないように、花穂整形は遅くとも満開期までには終了しましょう。

4 各種病害虫対策

(1) 樹種共通

生育が平年と比べて早まっていますので、農薬による防除は生育ステージに合わせて遅れずに実施ください。

(2) もも

ア モモせん孔細菌病

春型枝病斑の発生を見つけたら可能な限り基部まで切り戻すなど、徹底的にせん除しましょう。芽や新梢葉に生育不良が見られたら感染を疑い、病斑の有無を確認してください。薬剤による防除は、天候に留意しながら10日間隔で実施しましょう。

イ 灰星病

花腐れは果実への伝染源となるため、花の枯死やヤニの噴出を目印にして、見つけしだいせん除しましょう。せん除した枝は必ず園外に持ち出し、菌密度の低下に努めましょう。

本病は、ももの他、おうとう、すもも、あんずに発生します。園地周辺の花腐れの発生にも注意し、被害の拡大を防止しましょう。

(3) りんご

ア リンゴ褐斑病

例年本病の発生が多い場合には、防除暦に従って落花2週間後に防除を行いましょう。また、落花30日後頃は本病の子のう胞子の飛散盛期であり、重要防除時期にあたるため防除を徹底して初期の感染を抑えましょう。

イ リンゴ腐らん病

本病の発生がみられる園地では防除を徹底しましょう。枝腐らんは健全部を5cm以上含めて切り取り、胴腐らんは周囲の健全部まで5cm広く削りとりましょう。伐採した被害枝幹および削りとった病患部は適切に処分しましょう。

また、早期摘果は枝腐らんの感染防止に有効です。特に「ふじ」は摘果が遅れると果柄が脱落しにくくなり、本病に感染しやすくなるので、早期に実施しましょう。

(4) かき

ア 落葉病

昨年、落葉病の発生が多かった場合は、開花直前の防除を遅れずに実施してください。また、梅雨期間の薬剤散布間隔が15日以上空かないように、天気予報を見て、晴れ間を狙って散布してください。

○近年、農業災害が多発しています。農業保険（農業共済・収入保険）に加入しましょう！

○春の農作業安全運動（令和8年3月1日～5月31日）実施中！

農繁期の4～5月は農作業事故が発生しやすい時期です。特に摘らい・摘果時の落下防止に気をつけましょう！！